



NMIJ計測クラブ 平成28年度

# CMMユーザーズクラブ講演会

三次元測定機は便利な装置であり、何でも測定できるという感覚を持ってしまいがちです。ただしその使い方にはノウハウやコツが必要で、その性能を使い切っているとはいえません。また測定値の信頼性がどの程度なのかを知ることなく、測定機から算出された値はすべて精密と考えて使用されているユーザも少なくないようです。こうしたCMMユーザの不安と疑問に答えるCMMユーザーズクラブの会合を開催します。

日時 : 平成29年3月9日(木) 14:00～16:30

会場 : (国研)産業技術総合研究所  
臨海副都心センター 第2会議室

[http://www.aist.go.jp/aist\\_j/guidemap/tokyo\\_waterfront/tokyo\\_waterfront\\_map\\_main.html](http://www.aist.go.jp/aist_j/guidemap/tokyo_waterfront/tokyo_waterfront_map_main.html)

参加費 : 無 料

● 14:00～14:40 講演「ハイデンハイン製『スケール』」

ハイデンハイン株式会社 白川 周

CMMを支える基幹技術のオーバービュー企画 第2弾です。「スケール」と通称されるリニヤエンコーダはCMMの長さ測定やCNC制御に不可欠なサブシステムです。そのパイオニア企業様からご講演いただきます。この講演を聴けばあなたもスケール通になれる!?

● 14:40～15:10 講演「座標系基準の違いによる測定結果への影響」

— どこからはじめてもいいの? —

長野県工業技術総合センター 田中 敏幸

データム指示の無い図面を手に、「これ、ちゃちゃっと計ってみて・・・」と言う話を聞いたことはありませんか?このとき、人によってCMMのワーク座標系の設定が変わるかもしれません。座標系のとり方による測定結果への影響についてわかりやすく解説いただきます。

15:10～15:30 休 憩

● 15:30～16:00 講演「都産技研におけるJCSSの取組」

東京都立産業技術研究センター 三浦 由佳

「座標測定機用ゲージ」について、計量法校正事業者登録制度(JCSS)の認定登録事業者として登録されました。日本では初めて、ISO/TS 15530-4 に則った計算機シミュレーションによる不確かさ推定(Virtual CMM)を実現しました。その概要を解説します。

● 16:00～16:30 講演「多数点群測定データによる幾何公差検証」

産業技術総合研究所 佐藤 理

スキャニングプローブや非接触プローブをCMMに取り付けると、多数の点群による評価を行うこととなります。多数点群による幾何公差の評価が開発途上であることは意外に知られていないのではないのでしょうか。最近の研究開発動向をわかりやすく解説します。

## 申し込み・問い合わせ先

(国研)産業技術総合研究所 工学計測標準研究部門 幾何標準研究G (担当:阿部)

Tel:029-861-4041, Fax:029-861-4080, e-mail:[cmm-ml@aist.go.jp](mailto:cmm-ml@aist.go.jp)

申し込みは、住所、氏名、所属団体、電話番号を添えてe-mailで。